# M-300EXT 簡易マニュアル(2009/10/25)

*（M-300 全般のことについては、*
*「RS-232 マルチプレクサ M-300 お取扱上のご注意、同取扱説明書機能編、同取扱説明書操作編」をご参照下さい。）*

## 外部セレクティングモード（モード選択番号：8，9）

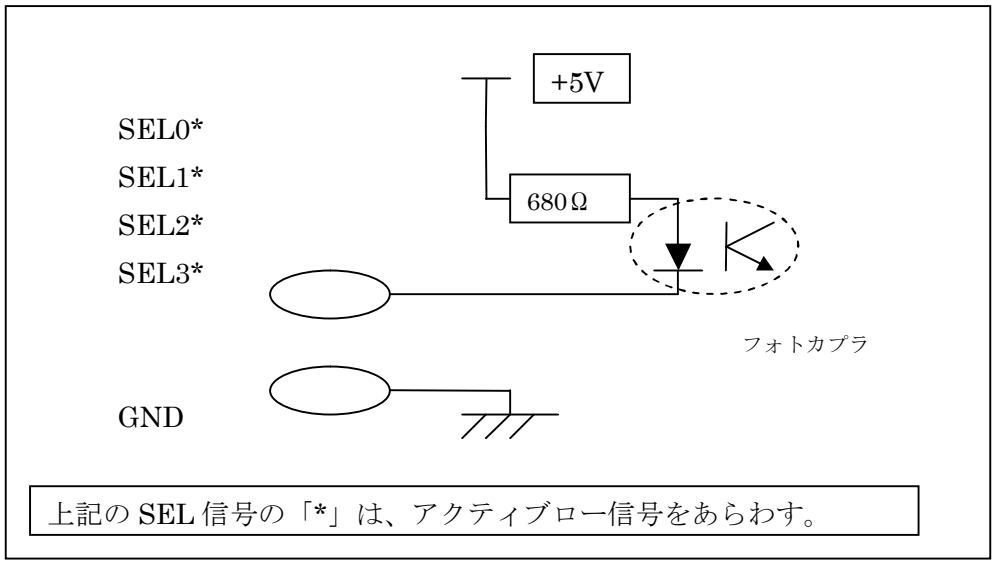
**モード選択番号8又は9を指定する**と、外部セレクトピンからのセレクト入力(本器の入力回路は、下記、ご参照下さい)によりスレーブチャネルが選択され、マスタユニットと接続されます。
**特に通信の速度やデータのフォーマットの設定は不要です。**

| |
|---|
| 注：このモードは工場出荷オプションです。通常はご使用できません。<br>また、手動動作のときのみ使用可能です。 |

入力回路を図1に示します。
接続の方法は、二通りあります。

- マスタコネクタの未使用ピンを利用する方法（図2）
- T1 端子台を利用する方法（図3）

図1　入力回路




上記の SEL 信号の「*」は、アクティブロー信号をあらわす。

図2　マスタコネクタの未使用ピンを使用する方法

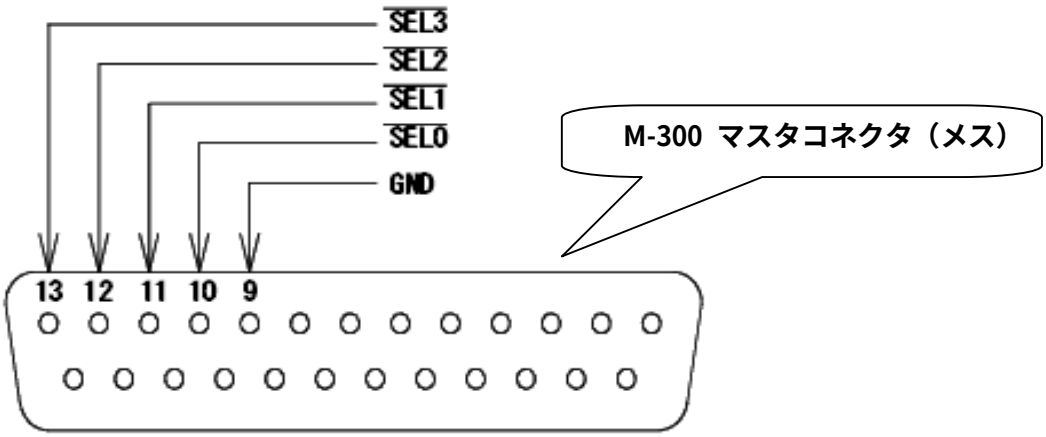
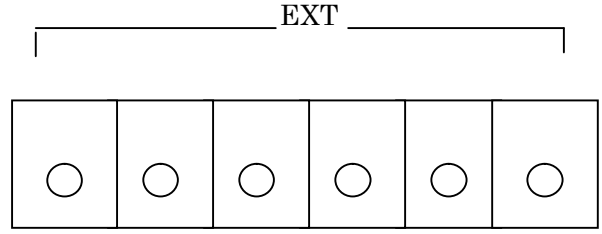



図3　T1 端子台から行う場合




＊SP は予備です。使用できません

ボタンの操作は、以下のようになります。

**・動作間切替え操作**

M-300の動作は、⩛ 、⩓ 又は、セット　ボタンを操作することで切替えます。

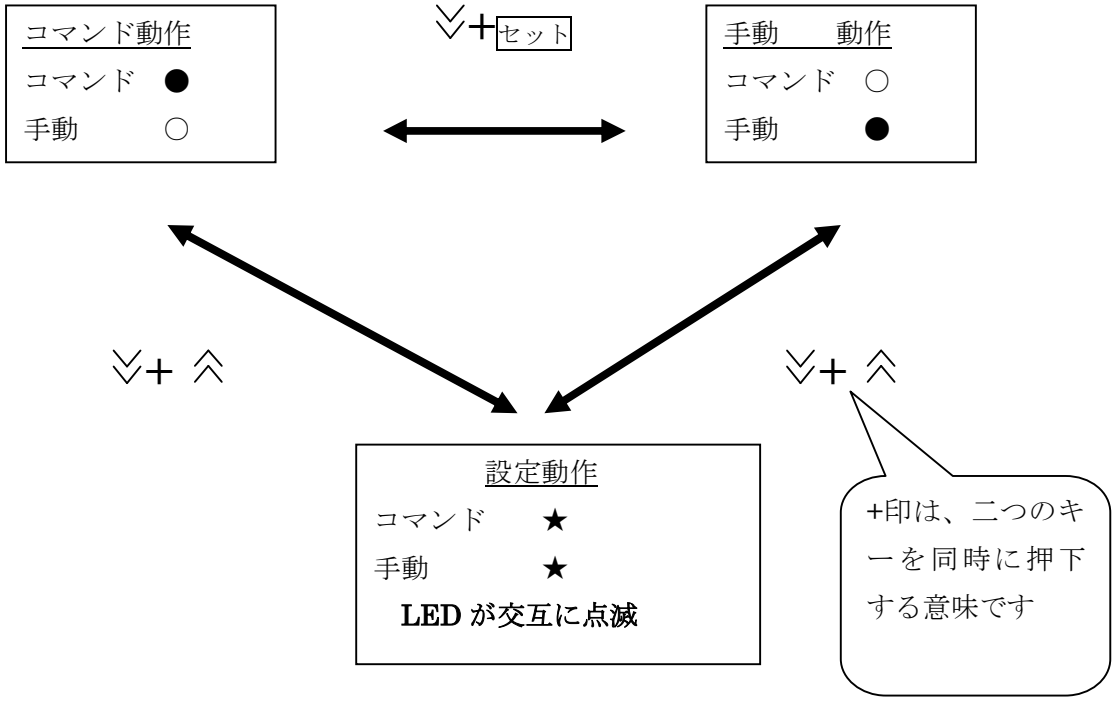



図4 動作間切替え操作

**・モード選択操作**

パネルの ⩛ 又は ⩓ ボタンを押すことにより、モードを選択します。

各々のボタンを1回押すことにより、次のモード又は一つ前のモードを選択することができます。
表1 に状態表示セグメントの表示一覧を示します。

表1　手動動作時の状態表示セグメントの表示内容と意味

| 状態表示セグメントの表示内容 | 意味 | マスタユニットからの制御内容 |
|---|---|---|
| 0 0 | セレクティングチャネル<br>0 モード | |
| 1 1 | セレクティングチャネル<br>1 モード | |
| 2 2 | セレクティングチャネル<br>2 モード | |
| 3 3 | セレクティングチャネル<br>3 モード | |
| 4 A | 同報モード。 | |
| 5 − | DR ポーリングモード。<br>− は接続待ち状態を表します。接続後、接続チャネル番号が表示されます。 | |
| 6 − | CD ポーリングモード。<br>− は接続待ち状態を表します。接続後、接続チャネル番号が表示されます。 | |
| 7 − | RD ポーリングモード。<br>− は接続待ち状態を表します。接続後、接続チャネル番号が表示されます。 | |
| 8 − | 外部セレクティングモード。<br>− は選択待ち状態を表します。選択後、選択チャネル番号が表示されます。 | 工場出荷オプションです。 |
| 9 − | 外部セレクティングモード。<br>− は選択待ち状態を表します。選択後、選択チャネル番号が表示されます。 | 工場出荷オプションです。 |

ご質問などございましたら下記へご連絡下さい！

〒121-0824
東京都足立区西伊興１－１－９
株式会社イーエス・ケー
電話　03-3854-3761
FAX　03-6802-8309
E メール　nkawakami@es-k.jp
担当　川上徳夫